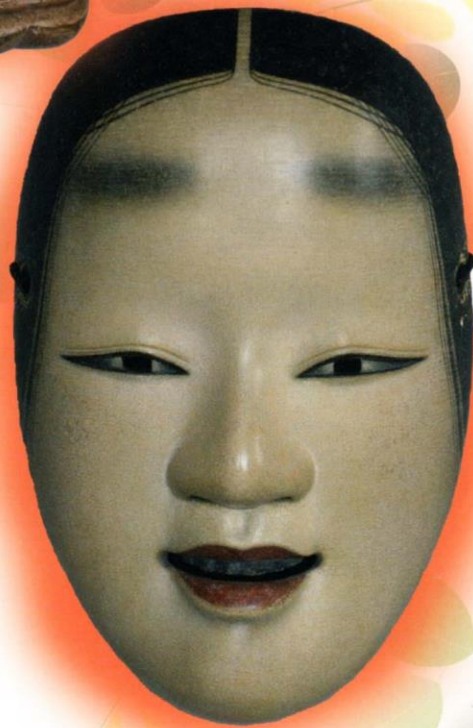


平成二十六年 第八回

島熊山能面祭

図録



主催：島熊山能面祭実行委員会

後援：豊中市・豊中市教育委員会

協力：豊中不動尊

第八回島熊山能面祭大賞作品

梅若玄祥 賞

「若女」

関東秀康

大槻文蔵 賞

「真蛇」

川井郁司

ごあいさつ

第8回島熊山能面祭にご応募いただきありがとうございますございました。

今回は全国32都府県より推薦枠7面を含めて215面の応募をいただきました。

能面は能楽師の手によって表情を変え、観るものを幽玄の世界に導きます。この美しさ力強さに魅了され面打ちを始めた方々も多いかと思えます。飾り面でなく「能舞台で使える能面」を目指し努力され、応募いただいた皆様に感謝いたします。皆様の努力が、伝統芸能を守り後世に引き継いでいく力だと確信しております。

島熊山能面祭は皆様と能楽師を継ぐパイプの役割を果たし、「平成の名作の発掘と面打ちへの支援」を目標として、少しでもお役に立ちたいと考えています。

今年、新たに「努力賞」を新設しました。島熊山能面祭は「能舞台で使えるか？」を基準に、能楽師が複数で選定するため、入賞にはかなり高いハードルがあります。ハードルを越えていただく為にコメントや交流会を行ってきましたが、最近、技術は向上し「基準」に近い「おいしい」作品が増えてきました。そこで、一律に不合格とするのではなく、積み重ねた努力を正当に評価し、「努力賞」を設け到達度を適正に評価したいと思えます。

今回も梅若玄祥先生・大槻文蔵先生はじめ、能楽師の先生方に審査やコメントなど大変な作業を快く引き受けていただきました、改めて厚くお礼申し上げます。

又、この度梅若玄祥先生が人間国宝に認定される事になりました。心からお祝い申し上げます。人間国宝となられる梅若玄祥先生を始め大槻文蔵先生など優れた能楽師の先生方を審査員としてお迎えできた事に誇りを持つと共に、ふさわしい能面祭に発展させる努力を更に続けたいと思っています。おめでとうございます。

島熊山能面祭実行委員会

審査委員総評

応募された作品の技術水準は確実に高くなっています。以前よくあった飾り面は少なくなり、かなりの面が能舞台で使える水準近くまで到達してきました。

しかし、推薦枠の作品を含めて、最終の目標である「能楽師が使いたくなる面」「平成の名作」という点からは残念ながらまだ少し距離があると言わざるをえません。

技術は上がっているのですが、これから飛び抜けるのは大変だと思います。

しかし、飛び抜けるためにと何か特別な事をするとう失敗する事が多々あると思えます。このまま自分の思うように打っていく中で、自然と自分に力がついてくる、地力が上がったところで、初めて特徴的な何かが生まれ、飛び抜けるのではないかと思えます。昔の面打ちもそうだったのでしょ。日々さらに努力を重ねてください。

審査にあたって気付いた点をいくつか述べます。

古色をつけ過ぎる面は少なくなりました。しかし、彩色に凝り過ぎて品が悪くなったり、表情が出なくなった作品が目につきます。古面の色を写すのは良いのですが、経年で変わってきた色を新面に入れてしまうと舞台上使えなくなります。彩色はその面に合った色を自然に入れるのが良いと思います。

まだ、左右が対象で変化しない面が多くありました、面の持つ表情や強さを出し変化させる技術を研究していただきたい。その為には、面の使われ方や求められる表情などを理解する事と、演能を観ていただく事が大切だと思います。

金冠の入った面で、目線や焦点が違っているもの、眼が飛び出しているものなどが多く見られました。特に左右の目線の違いは大切で、目線により強さやスケールの大きさが変わります、ただし、違い過ぎてはだめで、違っている事が自然に見えなくてはなりません。

重さも改善されてきましたが、まだ十分とは言えません。紐穴の位置、面のつけ方にも注意してください。目や鼻や口はもちろん唇の厚さや眉の位置だけでも表情が変わってしまいます。型や彩色、傷などを写すのでなく表情をもっと重視してください。

能面は美しいものです。皆様の更なる研究・努力で「舞台上使える能面」「能楽師が舞いたくなるような能面」を実現していただくことを期待します。
(文責・事務局)

審査風景



梅若玄祥先生



山崎正道先生 赤松禎英先生



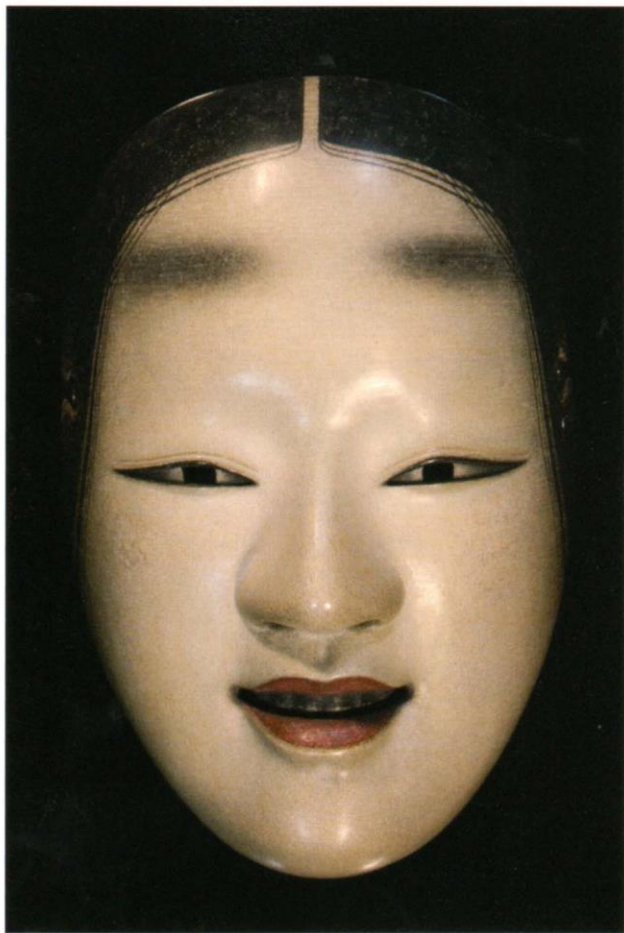
大槻文蔵先生



武富康之先生 大槻文蔵先生 山本博道先生



小笠原匡先生



梅若 玄祥 賞

「若女」
関東秀康
(大阪府)



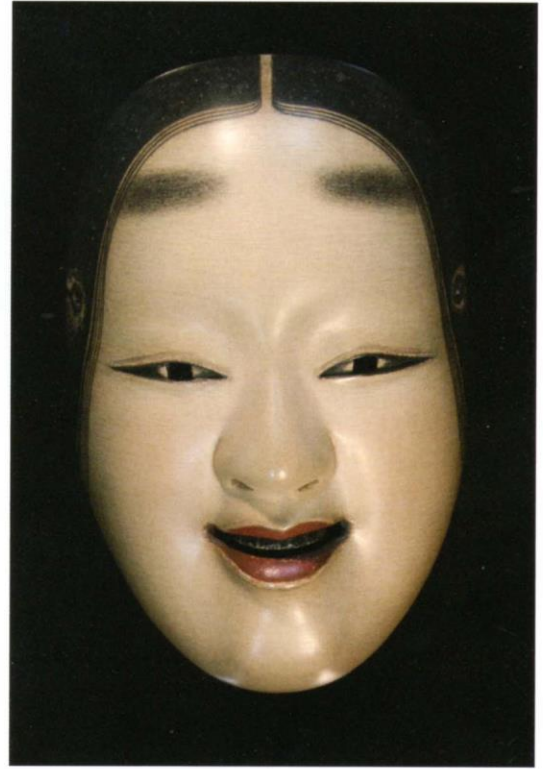
大槻文臧 賞

「真蛇」
川井郁司
(兵庫県)

特別賞

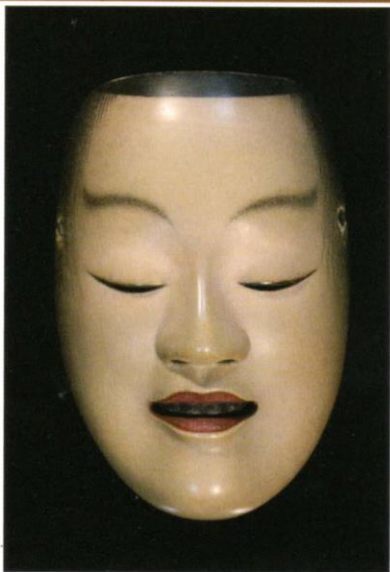


豊中市長賞
「増女」
海老原 彰
(鹿児島県)



豊中市教育委員会賞
「小面」
眞野恵子
(福岡県)

審査員特別賞

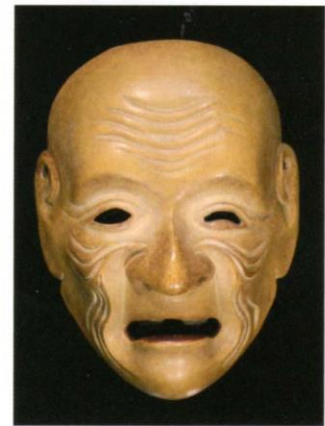


「蟬丸」
関東秀康
(大阪府)

優秀賞

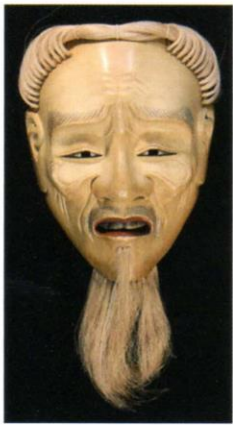


「小面」
落合勇紀夫
(神奈川県)



「祖父」
岩崎たつお
(京都府)

優秀賞



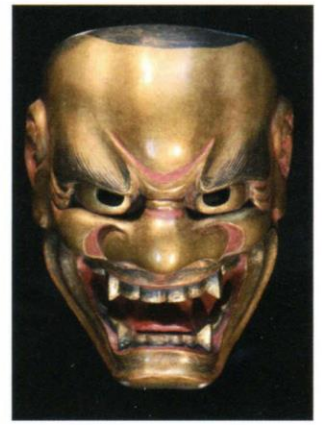
「小牛尉」
長谷川好昭
(兵庫県)



「増女」
海老原 彰
(鹿児島県)



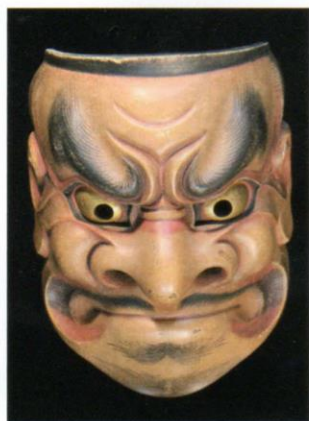
「若女」
眞野恵子
(福岡県)



「小獅子」
岩崎拓治
(兵庫県)



「小飛出」
笹本 栄
(兵庫県)

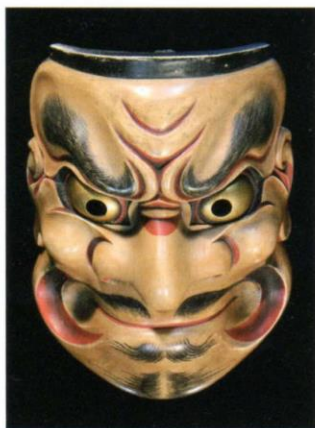


「大癡見」
井上欣一
(長野県)



「童子」
大野明子
(愛知県)

最優秀新人賞



「大癡見」
坂井昭俊
(福岡県)

優秀新人賞



「皺尉」
藤田仁美
(京都府)

奨励賞



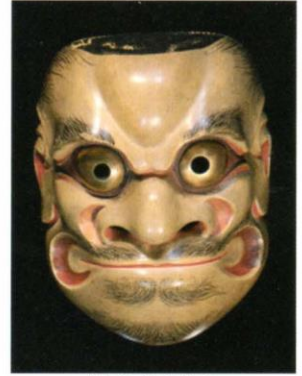
「黒髭」
柳田英彰
(栃木県)



「天神」
富田郁生
(京都府)



「赤般若」
辻本和仁
(大阪府)



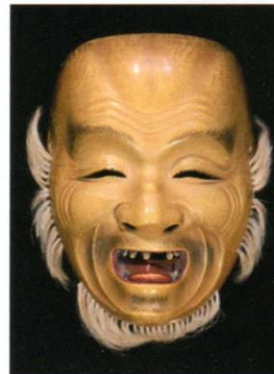
「長霊癡見」
松田龍仁
(山口県)



「小飛出」
棟広嘉明
(兵庫県)



「中将」
海老原彰
(鹿児島県)



「鼻引」
古濱伊津子
(奈良県)



「老女小町」
古濱伊津子
(奈良県)



「若女」
松尾芳樹
(大阪府)



「三日月」
塚田和夫
(大阪府)



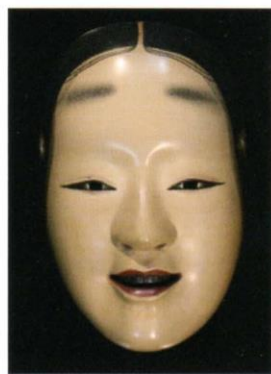
「節木増」
坪西國廣
(福岡県)



「蛭子」
坪西國廣
(福岡県)



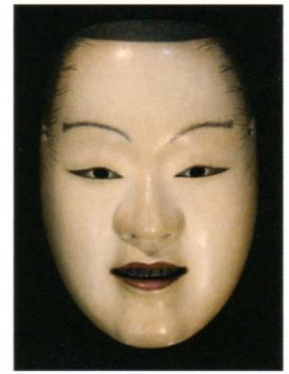
「中喝食」
西村 武
(福岡県)



「節木増」
平嶋末一
(福岡県)



「黒髭」
谷 宣子
(滋賀県)



「十六」
伊庭貞一
(滋賀県)

努力賞



「孫次郎」
村瀬龍一
(大阪府)



「瘦男」
落合勇紀夫
(神奈川県)



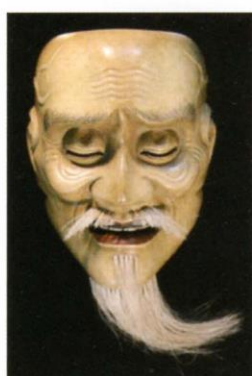
「万媚」
亀井紀夫
(福岡県)



「般若」
大賀信義
(広島県)



「万媚」
松尾芳樹
(大阪府)



「景清」
田川聞悟
(大阪府)



「三日月」
境和義
(福岡県)



「武内宿禰」
野本健三
(千葉県)



「実朝」
白崎 滋
(滋賀県)

入選作品講評

梅若玄祥賞	「若女」	十分使えます。表情は良い出来です、毛書きも良い。あえて言うならまとまり過ぎて使うのが難しい、口がもう少し笑っていた方が良いのでは、口が暗い印象を与えている、口だけみると悪くはないのですが。彩色も凝り過ぎて、もっと自然で白っぽくても良いのではないかと。舞台でどうなるか見てみたい面です。
関東秀康		
大槻文臧賞	「真蛇」	能舞台で使えます。使えない蛇の多い中オーソドックスで使えます、真蛇の特徴が良くつかまれている良い作品です。彫りも丁寧で骨格も十分表現されています。彩色も面にふさわしいものになっています。強さもある。骨が非常に良い。
川井郁司		
豊中市長賞	「増女」	表情もよく出ています、良い作品です。能舞台で十分使えます。彫りも彩色も上手です。もう一つ出された増女と比べて、口が違うだけでこちらの方がすごく良くなっています。
海老原彰		
豊中市教育委員会賞	「小面」	能舞台で使えます。彫りも良く骨格も正確に出ています。まとまりが良い作品です。小面の特徴も良くつかまれています。目の彫りが浅く若干平面的に見えます。使ってみてどうか楽しみな作品です。彩色をここまで赤くする必要はないように思います。
眞野恵子		
審査員特別賞	「蟬丸」	能舞台で十分使えます。良く彫れています。表情も良い、目の線が少し気になります、目が開き過ぎではないでしょうか？見所から演者の目が見えてしまうのでは？、逆に演者からは前が見えない、この面をつける時は前を見ないで舞っている場合が多いのですが、見えるように工夫してください。
関東秀康		
優秀賞	「小面」	舞台で使えます。眼と鼻と口の間隔が均整のとれた良い面です。小面にふさわしい彩色です、彫りも丁寧です。ただ、表情が乏しいので工夫が必要です。左右が対象になっているのが気になります、舞台で表情を変化させるための工夫を検討ください。きれいな面です。裏の彫りも良い。
落合勇紀夫		
優秀賞	「祖父」	舞台で十分使えます。表情も良く捉えられていますし、彩色も良い、裏面の彫りも良く顔の当りも良いがもう少し軽くしてください。能面は左右が非対称ですが、狂言面はもっと誇張されています。その点を工夫すればもっと良くなるでしょう。
岩崎たつお		
優秀賞	「小牛尉」	舞台で十分使えます。上手です。面の特徴をつかみ、ふさわしい彩色がなされています、表情も良く、彫りも丁寧です。小尉にしては眼が少し弱い。裏の彫りも良い。顎髭の量が多すぎます、もう少し整理した方が良いでしょう。
長谷川好昭		
優秀賞	「増女」	十分舞台で使えます。彩色も良く、彫りも丁寧です。面の特徴をよくつかんでいます。下唇が少し厚い感じがします。泣き増に似ている目・鼻は上手です。
海老原彰		
優秀賞	「若女」	能舞台で使えます。彫りも良く骨格も正確に出ています、特徴も良くつかまれており良い作品です。目の表情は良いのですが口のバランスが若干崩れているように思います。
眞野恵子		
優秀賞	「小獅子」	舞台で使えます、彩色も良く、彫りも丁寧で、特徴をよくつかんでいます。小獅子は強さが必要ですが少し重い感じがします。
岩崎拓治		
優秀賞	「小飛出」	舞台で十分使えます。全体的に良くできている。特に表情が良い、彫りも丁寧です。口はもう少し強くても良いと思いますし、黒目が大きいような感じがします。すこし重い感じがします。
笹本 榮		
優秀賞	「大癡見」	舞台で使えます。全体的に良い作品です、大癡見にしては目がすこし弱すぎます、もう少し力が要ります。表情的には鼻・口も大事ですが目の力強さがなければ舞台では使えません。顔に掛ける事を考えて紐穴の位置も検討してください。技術的にも高い作品です。
井上欣一		
優秀賞	「童子」	舞台で十分使えます。全体的に良くできています。目の表情が童子らしく良い。しかし、口横の彫りが気になります、良い方にいけば良いのですが気持ち悪く出れば全く使えなくなります。舞台で使ってみなければわからないところです。彩色も良い。鼻の穴の彫りも注意してください。
大野明子		
最優秀新人賞	「大癡見」	能舞台で使えます。顔の真ん中に力が集中して迫力があり上手です、良い作品です。赤が際立ち過ぎているのが気になります。目の金具の分だけ眼が出ているように思います。頬と鼻を上げるともっと強くなるでしょう。彫りの終わった後に顔につけてみてください、顔にあたり、視野が狭く前が見えなくては舞台で使えません、裏面の彫りを工夫してください。
坂井昭俊		
優秀新人賞	「皴尉」	舞台で使えますが、もう一頑張りが欲しい。彫りは丁寧で良いのですが、口の表情が気になります。皴尉の使われ方を研究されるとよいでしょう。目が小さすぎて皴尉の目ではなくなっている、どちらかと云うと石王尉の感じですが。額などが立体感に乏しい事が気になります。鼻はとても上手です。彩色はもう一工夫必要です。皴の彫りを研究してください。
藤田仁美		

入選作品講評

奨励賞	「黒髭」	舞台で使えますが、もう一工夫してください。大切な骨格は出来ており力強く良いのですが、目と口の表情を工夫していただくとさらに良くなると思います。左右対称になっているのと頬のたるみが強さを無くしやさしい感じにしています。面をつけた時、視野が狭くなります、裏面の彫りを工夫してください。
	柳田英彰	
奨励賞	「天神」	舞台で使えますが、もう一工夫してください。大切な骨格は出来ているし、面の特徴もつかめています。彩色も良い。表情も良い。傷が不自然で付け過ぎの感があります。彫りも丁寧ですが、向かって左目が良くないので集中力を少し欠いているようです。天神は見下ろすぐらいの目が必要です。前からと横からと見てください。
	富田郁生	
奨励賞	「赤般若」	舞台で使えますが、もう一工夫してください。悪くありません。彩色は良く、彫りも丁寧ですが目がより過ぎていませんか。鼻筋は少し湾曲しているのは良いのですがこれほど曲げると美しくなくなります。歯が少し小さいですね。角も良いです。
	辻本和仁	
奨励賞	「長霊癒見」	舞台で使えますが、もう一工夫してください。彫りは丁寧ですが、もう少し鼻から下の力強さがほしい。滑稽さもこの面の特徴ですから欲しい、目が単純で出すぎです、目線が散漫になっています。色はもう少し濃くても良いと思います。毛書きも良い、おでこが出すぎではないか？
	松田龍仁	
奨励賞	「小飛出」	舞台で使えますが、もう一工夫してください。小飛出にふさわしい彩色がされています。彫りも丁寧で均整が取れていますが、口が弱い、もっと獸的な強さ・表情が欲しい。面の使われ方を考えてもう一工夫してください。
	棟広嘉明	
奨励賞	「中将」	舞台で使えますがもう一工夫してください。彫りは丁寧で良いのですが、裏面の彫りはもう少し慎重に。もう少し芯が強くても良いと思います。鼻の割に眼が小さいのでバランスが悪くなっています。鼻と口は中将として良い造形です。目のつくりを工夫してください。
	海老原彰	
奨励賞	「鼻引」	舞台で使えます。良いです。もう少し凹凸があった方が良いと思います。この面が一番能面に近い動きをします狂言面です。動き方を研究して表情に生かしてください。人間の顔は左右が非対称ですが、狂言面はもっと誇張されています。左右のバランスを崩すことで表情が生きてくると思います。
	古濱伊津子	
奨励賞	「老女小町」	舞台で使えますが、もう一工夫してください。彩色も良く彫りも丁寧で特徴もつかまれています。頬が広がり過ぎている、眼・鼻・口は良いのです、もったいないです。彩色も良いと思います。向かって左の目の向きが気になります。
	古濱伊津子	
奨励賞	「若女」	舞台で使えるのですがもう一頑張りほしい。特に彫りが丁寧で、若女の特徴はつかまれています。全体のバランスが取れています。悪くはないのですが、若女にしては少し強すぎます、目の表情を少し工夫してください。鼻と口はたいへん良いのですが。
	松尾芳樹	
奨励賞	「三日月」	舞台で使えますがもう一工夫してください。三日月にあった彩色がなされて良い作品です。彫りは丁寧ですが、力強さに欠け表情が乏しい、もっと神の威厳を表現してください。
	塚田和夫	
奨励賞	「節木増」	舞台で使えますがもう一工夫してください。悪くはないのですが、舞台で使えますがもう一工夫してください。悪くはないのですが、眉間の彫りが浅く目の表情を工夫した方が良いでしょう。鼻筋は通してください。頬が太いのと頬に膨らみがあるため、ポテッとした感じがあります。
	坪西國廣	
奨励賞	「蛭子」	舞台で使えますがもう一工夫してください。彩色も良く、毛書きも良いのですが、面の左右が同じです、左右が対象になれば、単調になり強さなどが表現できなくなります。特に狂言面は表情が誇張されているので大切です。
	坪西國廣	
奨励賞	「中喝食」	舞台で使えますが、もう一頑張りが欲しい。彩色は良いし、毛書きや眉の感じも良いのですが、頬のあたりが間延びして力がないように思います。目から鼻・口にかけてやさしすぎて力強さがありません。左右が同じで表情が乏しい。
	西村 武	
奨励賞	「節木増」	舞台で使えますがもう一工夫してください。一つ一つの部分は良くできているのですが面に力がありません、表情がでないと言う事です。おでこの幅が広く深井に近いような気がします。頬と顎が太くすっきりした感じがでていません、彩色は上手です。
	平嶋末一	
奨励賞	「黒髭」	舞台で使えますがもう一工夫してください。彩色が濃すぎるのではもう少し白くても良い、もう少し表情に強さが欲しい。黒髭は一瞬の強さが求められます。工夫してください。
	谷 宜子	
奨励賞	「十六」	舞台で使えますがもう一工夫してください。表情に強さもありません。可愛らしさもありません。良くできています。左右が対照的で表情の変化に乏しいのが気になります。彩色も良くきれいな面です。
	伊庭貞一	

入賞作品展示会

場所 エル・おおさか 9F ギャラリー

日時 平成26年8月29日(金)～31日(日)(入場無料)
午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)

狂言師との交流会 (参加無料)

どなたでも自由に参加ください

講師 和泉流狂言師 小笠原匡先生

平成26年8月29日(金) 午後1時～3時、
エル・おおさか 能面祭入賞作品展示会場内

エル・おおさかアクセス

- 「新大阪駅」から
地下鉄御堂筋線(新大阪～淀屋橋)→京阪電鉄(淀屋橋～天満橋)
- 「大阪駅」から
地下鉄谷町線(東梅田～天満橋)
- 「難波駅」から
地下鉄千日前線(難波～谷町9丁目)→地下鉄谷町線(谷町9丁目～天満橋)

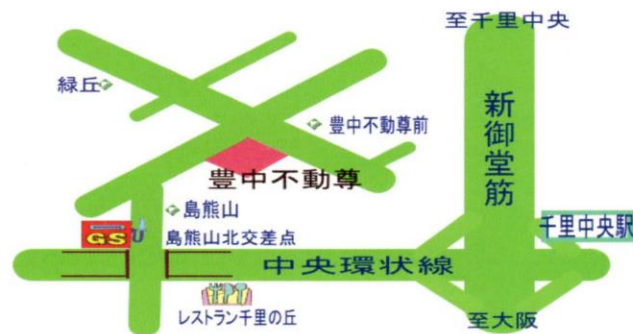


島熊山桜能

平成27年春
場所 豊中不動尊
大阪府豊中市緑丘2-14-8

豊中不動尊へのアクセス

大阪地下鉄千里中央駅からバスに乗車、豊中不動尊前下車
モノレール少路駅から徒歩10分



お問い合わせ

島熊山能面祭実行委員会

Mail / mai@yuugen.net

HP / http://shimakumayama.yuugen.net